

12

試練や苦難、わざわいの中で、
力を得るには？　希望を持つには？

13

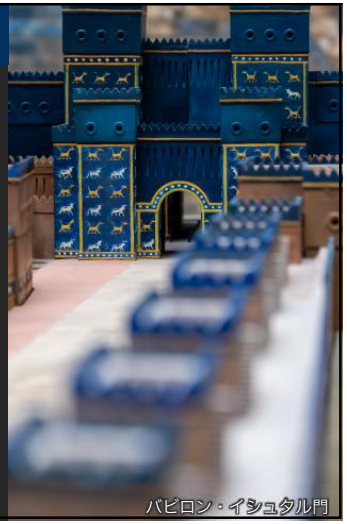
災いの日の希望の約束

❶バビロンのわざわいの日
51:1～26

❷バビロンと諸国の滅び
51:27～58

❸わざわいの日の希望
51:59～64

聖書引用　新改訳2017 ©2017 新日本聖書刊行会　許諾番号4-1062-2


バビロン・イシュタル門

14



15

■イスラエルは、多くの預言者の警告も拒み、背きを重ねた。

■北王国は、BC722年、アッシリアよって滅亡。
南王国は、バビロニアによって滅ぼされた。
（バビロン捕囚・BC586）



16

前説　50～51章　諸国民の裁きの基準

■**裁きの理由は、**①イスラエルを苦しめたこと
②彼ら自身の偶像礼拝
…唯一の神を知ったにも関わらず

■**裁きの基準は、**①イスラエルをどれだけ苦しめたか
②イスラエルとの関係の近さ

最後に、イスラエルと周辺諸国を滅ぼした、
バビロニアの滅びが2章に渡って告げられる

17



二代目のネブカドネツァル王は、エジプトまで勢力を拡大。
BC539、ペルシアのキュロス王がバビロン陥落、86年間で消失。

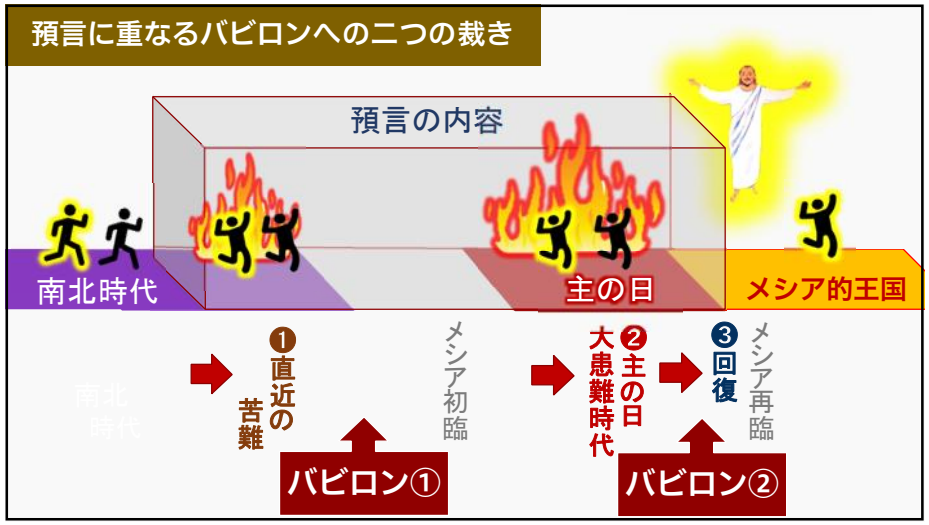
18

預言に重なるバビロンへの二つの裁き

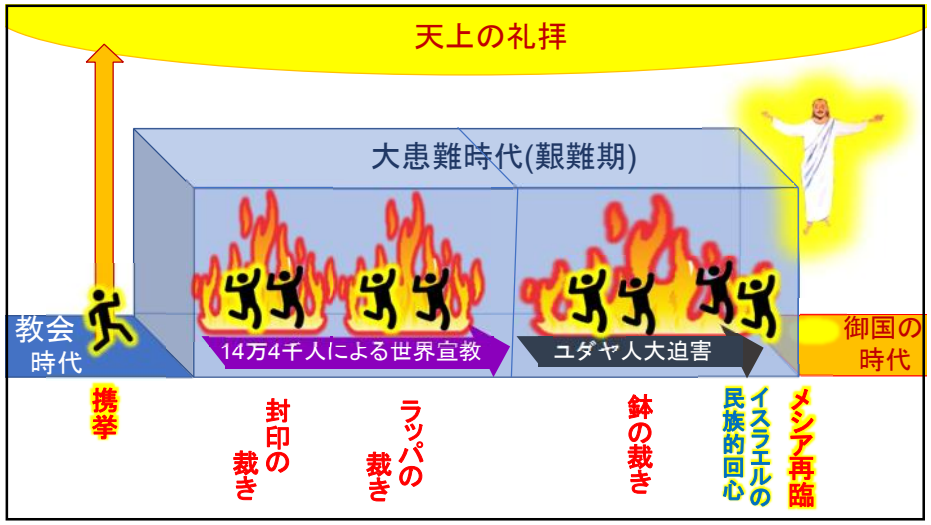


シームレスでフラクタル
（つなぎ目がなく、相似形）

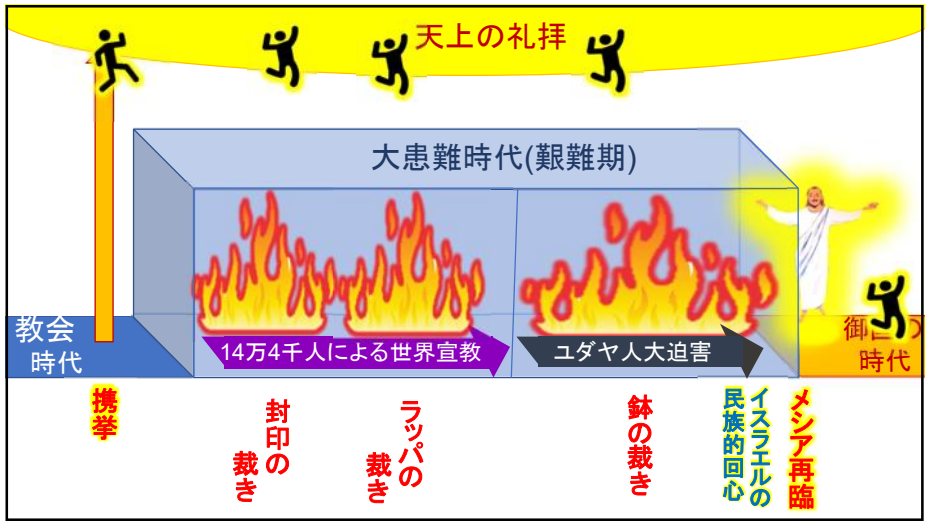
19



20



21



22

50～51章　「バビロンへの裁き」の特徴

- 2章110節にも渡る、**バビロンへの哀歌。**
  - ➡詩的表現が多用。あくまで詩歌として味わう。
- 第一に、**イスラエルへの励まし。**
  - ➡特に、バビロンにいる捕囚の民に向けて。
    究極的は、艱難期の大バビロンの迫害に苦しむ民へ。
- 公正な裁きを下し、約束の民を守られる、**主への賛美。**

「バビロンへの哀歌」「主への賛美」として味わおう!!

23



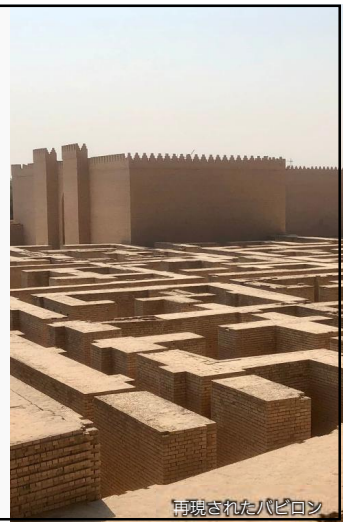
24

❶災いの日　わざわいの日　51:1～2

【主】はこう言われる。「見よ。わたしはバビロンに対し、レブ・カマイ*の住民に対して、滅ぼす者の霊を奮い立たせ、 他国人たちをバビロンに送る*。彼らはこれを吹き散らし、その地を滅ぼす。彼らは、わざわいの日に、四方からこれを攻める。」

＊バビロニアの地名、どこかは不明。

＊バビロンを滅ぼす者、ペルシアの霊。



25

❶災いの日　聖絶　エレミヤ51:3～4

射手には弓を引かせるな。よろいを着けて立ち上がらせるな*。そこの若い男たちを惜しむな。その全軍を**聖絶***せよ。

刺し殺された者たちが、カルデア人の地に、突き刺された者たちが、その通りに倒れる。

＊バビロン陥落は、ペルシアの不意打ち。

＊聖絶の命令は、
　カナン、アマレク、バビロンのみ



26

❶災いの日　イスラエルの守り　51:5～6

しかし、イスラエルもユダも、その神、万軍の【主】に見捨てられることはない。彼らはイスラエルの聖なる方から離れ、彼らの地は罪過で満ちていたが。

バビロンの中から逃げ、それぞれ自分自身を救え。バビロンの咎のために絶ち滅ぼされるな。これは、【主】の復讐の時、主がこれに報いをなさるからだ。

■約束のゆえに守られるイスラエル。
　巻き込まれないよう逃れよと命じられる。



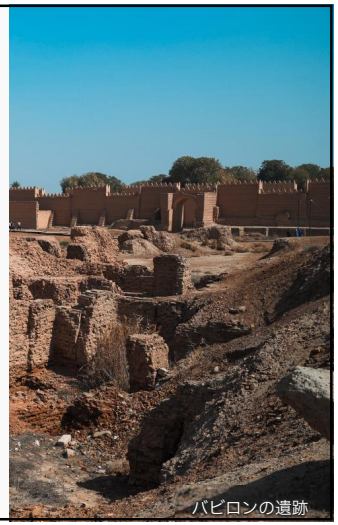
27

❶災いの日　神の怒りの杯　51:7～8

バビロンは【主】の手にある金の杯*。すべての国々はこれに酔い、国々はそのぶどう酒を飲む。それゆえ、国々は正気を失う。

バビロンは、たちまち倒れて砕かれる。バビロンのために泣き叫べ。その痛みのために乳香を取れ。もしかしたら、癒やされるかもしれない。

＊神の怒りの裁きの杯
　バビロンと共にある者も裁きに呑まれる。
　➡究極が艱難期の大バビロンの滅び


バビロンの遺跡

28

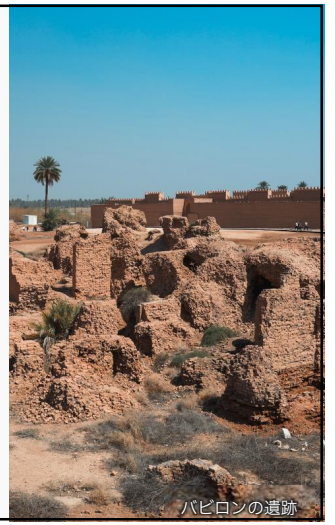
❶災いの日　帰還民の声　51:9～10

私たちはバビロンを癒やそうとした*。だが、それは癒やされなかった。私たちはこれを見捨てて、それぞれ自分の土地へ帰ろう。バビロンへのさばきが、天に達し、大空まで上ったからだ。

【主】は私たちの義を明らかにされた。さあ、私たちはシオンで、私たちの神、【主】のみわざを語ろう。

＊エレミヤの警告の預言は70年以上前に!!

■裁きを知らされながら悔い改めず!!


バビロンの遺跡

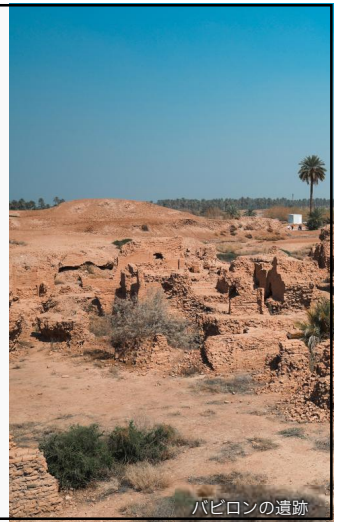
29

❶災いの日　主の復讐　51:11～12

矢を研ぎ、小盾を取れ。【主】はメディア人の王たちの霊*を奮い立たせられる。御思いは、バビロンを滅ぼすこと。それは**【主】の復讐**、ご自分の神殿の復讐だからである。

バビロンの城壁に向かって旗を掲げよ。見張りを強くし、番兵を立て、伏兵を備えよ。【主】は計画を練って、バビロンの住民について語ったことを実行されるからだ。

＊ペルシアと連合してバビロンを滅ぼした。


バビロンの遺跡

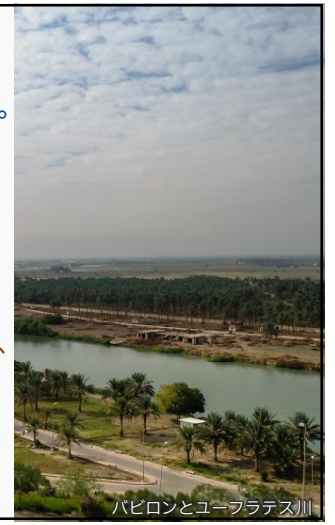
30

❶災いの日　バビロンの最期　51:13～14

大水のほとりに住む、財宝に富む者よ*。おまえの最期、おまえの寿命が尽きる時が来た。

万軍の【主】はご自分にかけて誓われた。「わたしは必ず、バッタの大群のような人々でおまえを満たす。彼らはおまえに対して叫び声をあげる。」

＊ユーフラテス川沿い、四方を掘りに囲まれ、
　繁栄を極めたバビロンだったが…。


バビロンとユーフラテス川

31

❶ 主の御力 51:15～16

主は、御力をもって地を造り、知恵をもって世界を堅く据え、英知をもって天を張られた。

主の御声に、天では水のざわめきが起こる。主は地の果てから雲を上らせ、雨のために稲妻を造り、ご自分の倉から風を出される。

■全地を治める天地の造り主が賛美される。

➡誰もが自然を通して創造主を知れる

すべての人に与えられたのが自然啓示



32

❶災いの日 空しい偶像 51:17

すべての人間は愚かで無知だ。すべての金細工人は、 彫像のために恥を見る。その鋳た像は偽り、その中には息がない。

それは空しいもの、物笑いの種だ。刑罰の時に、それらは滅びる。

ヤコブの受ける分は、このようなものではない。主は万物を造る方。イスラエルは主のゆずりの民。その御名は万軍での【主】。

■創造主の対極が、人の造った空しい偶像。



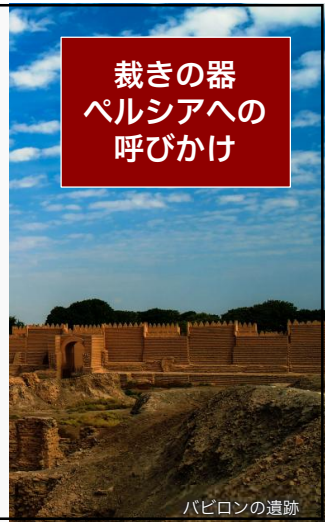
33

❶災いの日 主の鉄槌 51:20～23

「あなた*はわたしの鉄槌、戦いの道具だ。わたしはあなたによって国々を砕き、あなたによって諸王国を滅ぼす。

あなたによって馬も騎手も砕き、あなたによって戦車も御者も砕き、あなたによって男も女も砕き、あなたによって年寄りも幼い者も砕き、あなたによって若い男も若い女も砕き、あなたによって牧者も群れも砕き、あなたによって農夫もくびきを負う牛も砕き、あなたによって総督や長官たちも砕く。

＊ペルシア。究極的には再臨のメシア



34

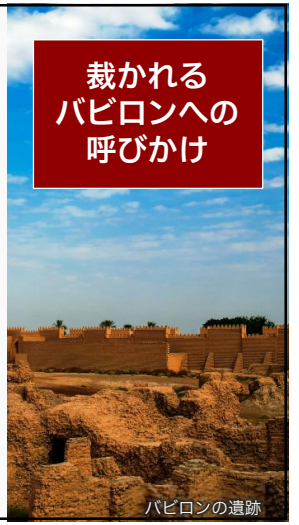
❶災いの日 主の報復 1:24～26

わたしはバビロンとカルデアの全住民に対し、彼らがシオンで行ったすべての悪に、あなたがたの目の前で報復する。―【主】のことば―

全地を破壊する、破壊の山よ。見よ、わたしはおまえを敵とする。―【主】のことば―
わたしはおまえに手を伸ばし、おまえを岩から突き落とし、おまえを焼けた山とする。

だれもおまえから石を取って、要の石とする者はなく、礎の石とする者もない。おまえは永遠に荒れ果てた地となる。―【主】のことば」

■主の裁きは、完全で永遠。



35



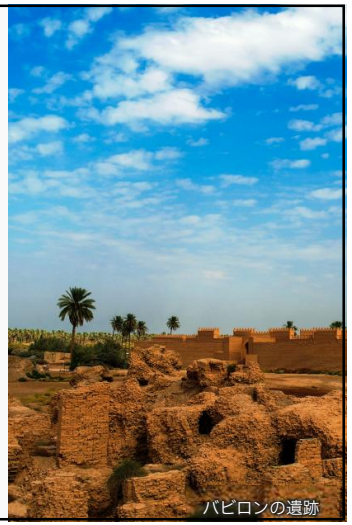
36

❷滅び **北方の侵略者** 51:27

この地に旗を掲げ、国々の中で角笛を鳴らせ。バビロンに向けて国々を聖別せよ。バビロンに向けて王国を召集せよ。アララテ、ミンニ、アシュケナズ*を。バビロンに向けて司令官を立て、群がるバッタのように、馬を上らせよ。

＊バビロニアの北方の国々

➡ペルシアに便乗してバビロンを侵略



37

❷滅び **主による聖別** 51:28～29

バビロンを攻めるため国々を聖別せよ*。メディアの王たち、その総督やすべての長官たち、その支配にある全土の民を。

地は震え、もだえる。【主】はご計画をバビロンに成し遂げ、バビロンの地を住む者もいない荒れ果てた地とされる。

＊主の裁きの器として聖別される



38

❷滅び **敗北を告げる使者** 51:30～32

バビロンの勇士たちは戦いをやめ、砦の中に座り込む。彼らの力は干からびて、女たちのようになる。その住まいは焼かれ、かんぬきは砕かれる。

飛脚はほかの飛脚に走り次ぎ、使者もほかの使者に取り次いで、バビロンの王に告げて言う。「都は、くまなく攻め取られ、渡し場も取られ、湿地も火で焼かれ、戦士たちはおじ惑っています」と。

■なすすべなく陥落していくバビロニアの町々。



39

❷滅び　刈り入れの時　51:33～34

イスラエルの神、万軍の【主】が、こう言われるからだ。「娘バビロンは、踏まれるときの打ち場のようだ。もうしばらくで、刈り入れの時が来る。

『バビロンの王ネブカドネツァルは、私*を食い尽くし、私をかき乱して、空の器にした。竜のように私を呑み込み、私という美味で腹を満たし、私を洗い流した。』

＊バビロンに滅ぼされたイスラエル



再現された麦打ち場

40

❷滅び　イスラエルの訴え　51:35～36

シオンに住む者は言え。『私と私の肉親になされた暴虐が、バビロンに降りかかれ』と。エルサレムは言え。『私の血がカルデアの住民に注がれよ』と。」

それゆえ、【主】はこう言われる。「見よ。わたしはあなたの訴えを取り上げ、あなたのために報復する。バビロンの海を干上がらせ、その泉を涸らす*。

＊ペルシアは、掘りを干上がらせて侵入。
失われる富、権力、栄華をも象徴。



41

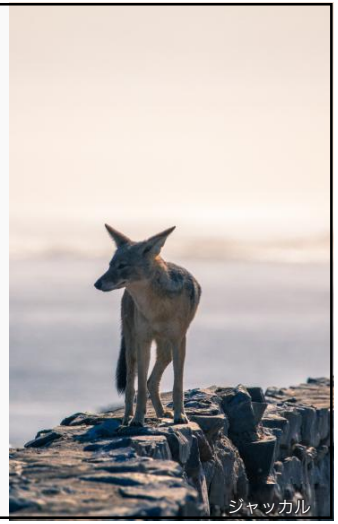
❷滅び　永遠の眠り　51:37～39

バビロンは石くれの山、ジャッカルの住みかとなり、恐怖のもと、また嘲りの的となって、住む者はいなくなる。

彼らはともに、若獅子のように吼え、獅子の子のようにうなる。

彼らが苛立っているとき、わたしは彼らに宴会を開き、彼らを酔わせる*。彼らは陽気になり、永遠の眠りについて、目覚めることはない。――【主】のことば――

＊宴会中に襲撃された


ジャッカル

42

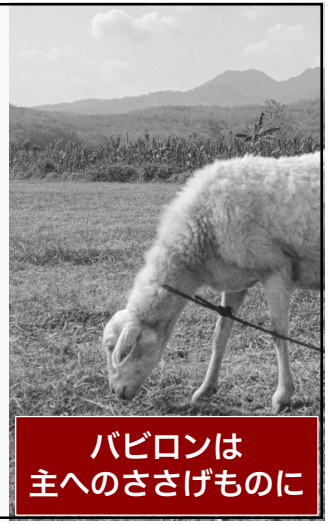
❷滅び　屠り場　51:40～42

わたしは彼らを、子羊のように、また雄羊か雄やぎのように、屠り場に下らせる*。

ああ、バビロンは攻め取られ、全地の誉れであった者は捕らえられた。ああ、バビロンは国々の間で恐怖のもととなった。

海*がバビロンの上にのしかかり、波のざわめきにおおわれた。

＊聖絶＝全焼のささげもの。
＊神の裁きの象徴



43

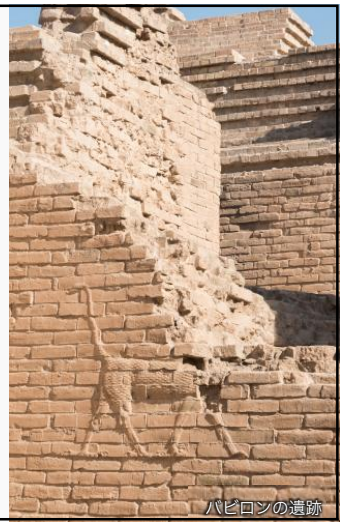
❷滅び　バビロンの倒壊　51:43～44

その町々は荒れ果てた地となり、その地は砂漠と荒れ地となり、だれも住まず、人の子が通りもしないところとなる。

わたしはバビロンでベルを罰し、これが呑み込んだ物を吐き出させる*。国々はもう、そこに流れ込むことはない。バビロンの城壁さえも倒れてしまった。

＊屠られた動物の血を抜き、きよめる様子。

■国々を呑み込み、繁栄したバビロンだが、貯め込んだ財もすべて失うことに。



44

❷滅び　暴虐から逃れよ　51:45～46

わたしの民*よ、その中から出よ。【主】の燃える怒りから逃れ、それぞれ自分自身を救え。

そうでないと、あなたがたの心は弱まり、この地に聞こえるうわさを恐れることになる。今年、うわさが立ち、その後、次の年にも、うわさは立つ。この地には暴虐があり、支配者はほかの支配者に立ち向かう。

＊イスラエルの民は、バビロンから逃れよと。

■うわさを聞くだけで震え上がる破滅が!!



45

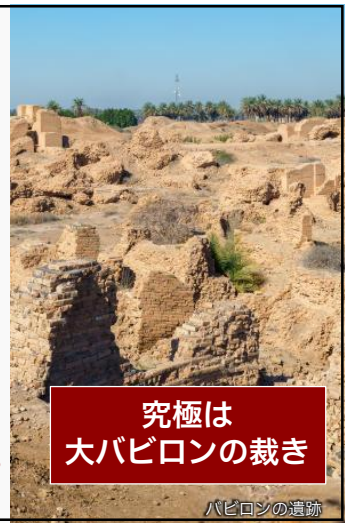
❷滅び　裁かれる偶像　51:47～48

それゆえ、見よ、その時代*が来る。そのとき、わたしはバビロンの彫像*を罰する。この全土は恥を見、刺し殺された者はみなそのただ中に倒れる。

天と地とその中にあるすべてのものは、バビロンのことで喜び歌う。北からこれに向かって、荒らす者たちが来るからだ――【主】のことば――。

＊究極的裁きは、艱難期の最後に。

＊バビロンでも多くの偶像が祭られていた。



46

❷滅び　剣を逃れた者よ　51:49～50

イスラエルの刺し殺された者たちよ*、バビロンは必ず倒れる。バビロンによって全地の刺し殺された者たちが倒れたように。

剣を逃れた者よ、行け。立ち止まるな。遠くから【主】を思い出せ。エルサレムを心に思い浮かべよ。

＊バビロン捕囚で殺された者たち

➡艱難期に迫害で殺された者たちも

■イスラエルを苦しめたバビロンへ、その暴虐への神の報いが厳しく下る。



47

❷滅び **拭われる恥辱** 51:51

『私たちは、そしりを聞いて、恥を見た。恥辱が私たちの顔をおおった。他国人が【主】の宮の聖所に入った*からだ。』

それゆえ、見よ、その時代が来る。――【主】のことば――そのとき、わたしはその彫像を罰する。刺された者がその全土でうめく。

＊第二神殿は、略奪され、破壊。
　第三神殿は、反キリストが汚す。

■バビロンも大バビロンも罰せられる。



エルサレムの城壁

48

❷滅び **逃れ場はない** 51:53~～54

たとえバビロンが天に上っても、たとえ、砦を高くして近寄りがたくしても、わたしのもとから荒らす者たちがそこへ行く。――【主】のことば。」

バビロンから、叫ぶ声がする。カルデア人の地から、大いなる破滅の音が。

■主の裁きから逃れる先はどこにもない。
　➡空中の支配者・サタンであっても!!

艱難期の最後、反キリストが裁かれる


ジグラットの階段

49

❷滅び **報復の神** 51:55～56

【主】がバビロンを荒らして、そこから大いなる声を絶やされるからだ。その波は大水のように鳴りとどろき、その声は鳴りどよめく。

まことに、荒らす者*がバビロンを攻めに来て、その勇士たちは捕らえられ、その弓も折られる。【主】は報復の神であり、必ず報復されるからだ。

＊ペルシア。究極は再臨のメシアか。

■神の敵対者には、罪に応じた報復が下る。


バビロニアの遺跡

50

❷滅び **万軍の主の御告げ** 51:57～58

「わたしは、その首長たちや知恵のある者、総督や長官、勇士たちを酔わせる。彼らは永遠の眠りについて、目覚めることはない―その名を万軍の【主】という王のことば」

万軍の【主】はこう言われる。「バビロンの厚い城壁は完全にくつがえされ、その高い門にも火が放たれる。国々の民は無駄に労し、諸国の民は、ただ火に焼かれて、力尽きる」

**バビロンの滅びは、
すべての異邦人諸国の滅びを象徴**


バビロン遺跡

51



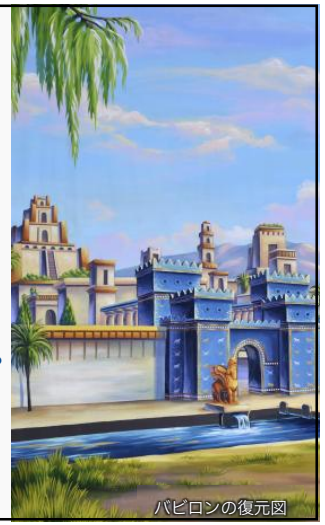
52

❸希望 託された書物 51:59～60

マフセヤの子ネリヤの子セラヤが、ユダの王ゼデキヤとともに、その治世の第四年にバビロンへ行ったとき、預言者エレミヤがセラヤに命じたことば。そのとき、セラヤは宿営の長であった。

エレミヤはバビロンに下るすべてのわざわい、すなわち、バビロンについて記された、これらすべてのことばを**一つの書物**に記した。

■傀儡の王ゼデキヤは、バビロン王に謁見。
捕囚民の長セラヤに、50～51章を託した。



53

❸希望 セラヤの任務 51:61～62

エレミヤはセラヤに言った。「あなたがバビロンに入ったときに、これらすべてのことばをよく注意して読み、こう言いなさい。『【主】よ。あなたはこの場所について、これを滅ぼし、人から家畜に至るまで住むものがないようにし、永遠に荒れ果てた地とする*、と語られました。』

＊告げられたのは、バビロンへの永遠の裁き
➡神の国(千年王国)、永遠の命の希望



54

❸希望 沈むバビロン 51:63～64

そしてこの書物を読み終えたら、それに石を結び付けて、ユーフラテス川の中に投げ入れ*、こう言いなさい。『このように、バビロンは沈み、浮かび上がれない。わたしがもたらすわざわいを前にして。彼らは力尽きる。』」ここまでが、エレミヤのことばである。

＊究極的な裁きを示す。マタイ18:6
■バビロンには、すでに捕囚された民が。
➡バビロンの滅び、解放の希望が!!



55



56

まとめ　バビロンの裁きの中にもある希望

❶バビロンのわざわいの日　…イスラエルを苦しめたバビロンに義なる神の公正な裁きが下る

❷バビロンと諸国の滅び　…バビロンは、聖絶のささげもの。諸国と共に滅ぼされる。

❸わざわいの日の希望　…主の約束がイスラエルを守る。主に信頼したすべての民も。

バビロンの裁きは、イスラエルの解放の希望

57

まとめ　大バビロンの裁き　大艱難時代の希望

❶大バビロンの災いの日　…再臨のメシアと天の軍勢の裁き。千年王国にも破滅の痕跡が。

❷大バビロンと諸国の滅び　…大バビロンと全諸国が裁かれる。

❸終末の災いの日の希望　…残れるイスラエルは民族的回心へ。大迫害の中の世界的リバイバル。

大バビロンの裁きは、すべての信仰者の終末的希望

58

適用　バビロンへの哀歌　信じる者には慰めに

- 捕囚民の長セラヤに託された、50～51章、バビロンへの哀歌。
- 70年の捕囚の間も、主に信頼する者には慰めと解放の希望が。
- 最悪の艱難期にあってすら、救いの希望は与えられ続ける。ましてや、滅びの前の産みの苦しみの時代にはなおさら。

私たちは、恵みの時代、希望の時代を生かされている!!

59

適用　与えられ、約束された恵みを確認しよう

「私たちは神とともに働く者として、あなたがたに勧めます。
神の恵みを無駄に受けないようにしてください。
神は言われます。『恵みの時に、わたしはあなたに答え、
救いの日に、あなたを助ける。』見よ、今は恵みの時、
今は救いの日です。 Ⅱコリ6:1～2」

■私たちが生かされている今は、恵みの時、救いの日。
私たちを通して、救いにいたる人々が起こされていく。

主に助けられ、用いられることが、私たちの最大の恵み

60

適用　神のしもべとして、推薦されている私たち

私たちは、この務めがそしられないように、どんなことにおいても決してつまずきを与えず、むしろ、あらゆることにおいて、自分を**神のしもべ**として推薦しています。
すなわち、苦難にも苦悩にも困難にも、むち打ちにも入獄にも騒乱にも、疲れ果てた時も眠れない時も食べられない時も、大いなる忍耐を働かせて、また、純潔と知識、寛容と親切、聖霊と偽りのない愛、真理のことばと神の力により、また左右の手にある義の武器によって、また、ほめられたりそしられたり、悪評を受けたり好評を博したりすることによって、自分を**神のしもべ**として推薦しているのです。 Ⅱコリ6:3～8

61

適用　主に与えられた、逆説的な恵み

「私たちは人をだます者のように見えても、**真実であり**、人に知られていないようでも、**よく知られており**、死にかけているようでも、見よ、**生きており**、懲らしめられているようでも、**殺されておらず**、悲しんでいるようでも、**いつも喜んでおり**、貧しいようでも、**多くの人を富ませ**、何も持っていないようでも、**すべてのものを持っています**。Ⅱコリ6:8～10」

■心に留めるべきは、自分と世の表面ではなく、
主が約束され、主の目に見えている、今あり、永遠にある真実。

すべては神の永遠の約束の上にある

62

主がすべてを新しくされる　黙示録21:3～5

「見よ、神の幕屋が人々とともにある。
神は人々とともに住み、人々は神の民となる。
神ご自身が彼らの神として、ともにおられる。
神は彼らの目から涙をことごとくぬぐい取ってくださる。
もはや死はなく、悲しみも、叫び声も、苦しみもない。
以前のものが過ぎ去ったからである。」
すると、御座に座っておられる方が言われた。
「見よ、わたしはすべてを新しくする。」また言われた。
「書き記せ。これらのことばは真実であり、信頼できる。」

63

★　わざわいの日の希望の約束　★

■バビロンへの災いの預言にこめられた、慰めと希望。
闇の中の光。その究極である主イエス・キリストを仰ぎ見よう。

■私の罪のため、十字架で死なれ、復活された、主イエスは、
栄光の王として再臨され、悪を裁き、永遠の御国を建てられる。

■主の約束が、苦難の中の私の慰め、私の力となるように、
主にこの身を明け渡して、ただ主に満たされて行こう。

主を慕い求め、主を仰ぎ見続けていこう

64

「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください
私たちは、神の御子、主イエス・キリストが、
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、
②墓に葬られ、
③三日目に復活されたこと、を信じます。
主イエスは、栄光の王として来られ、永遠の御国を建てられます。
私たちに栄光の体を与えられ、永遠の御国の民としてくださいます。
どうか主の約束を、しもべである私たちの慰め、力としてください。
恵みの主を証しする者として、世に私たちを遣わしてください。
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。　アーメン」

65